第57回 船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：令和4年7月8日（金）

14：00～15：30

場 所：船橋市役所9階 第一会議室

Web併用

出席者：別紙名簿参照

事務局	事務局連絡
	1. 開 会
	2. 議事及び報告
議 長	ただいまから、第57回船橋市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。本日はご多忙のところ、ご出席または、Webでご参加いただきありがとうございます。本会議につきましては、「船橋市地域公共交通活性化協議会 会議運営規定」第2条第1項に基づき、公開することといたします。それでは、1つ目の議題について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<事務局より説明>【議題1】
議 長	では今の説明について、まず会場にいる方から、ご意見ご質問等よろしく願います。はい、お願いします。
委 員	補足の説明をお願いします。1点目は収入に係る決算について、国庫支出金が68万5千円と計上されており、当初予算案と同額であります。当初のとおり国庫補助が受けられたとの認識ですが、国庫補助がどのような形で使われたのか、また調整などあったかご説明願います。2点目は、次年度の繰越金として76万8千円ほどが計上されております。この繰越金については、令和4年度に支出するにあたって制約があるのでしょうか。
事務局	ご説明いたします。1点目の補助金の活用についてですが、資料中にもありますとおり、船橋市地域公共交通計画の策定の委託料に充当しております。2点目の繰越金の制約についてですが、制約はございません。ただし、書面開催時の切手代が高んでおり、今後も書面開催が多くなることが予測されますので、そうしたところに充当していきたいと考えております。

委員	わかりました、ありがとうございます。
議長	ありがとうございます。 続いて、Webでご参加の委員の方、ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。 いらっしゃらないようですので、お諮りさせていただきます。 令和3年度船橋市地域公共交通活性化協議会決算案について、事務局の提案通り承認することとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし
議長	ありがとうございます。 それでは、令和3年度船橋市地域公共交通活性化協議会決算案について、承認することといたします。 それでは、2つ目の議題について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<事務局より説明>【議題2】
議長	では今の説明について、まず会場にいる方から、ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。 はい、お願いします。
委員	1点ご質問がございます。 支出について、事業費として70万9千円が計上されております。後ほどの議事にて調査委託費があるとの説明でありましたが、今後の委託事業の進め方によっては増減額があるかと思いますが、これについて改めて予算変更の議事を行うのか、次の議事が盛り込まれた状態で行うのか、ご説明願います。
事務局	ご説明いたします。 次の議事では公共交通マップの更新について説明を行う予定であります。そのため、委託料としては今回の70万9千円にてお諮りいただきたいと考えております。
委員	わかりました、ありがとうございます。
議長	ありがとうございます。 続いて、Webでご参加の委員の方、ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。
議長	いらっしゃらないようですので、お諮りさせていただきます。 令和4年度船橋市地域公共交通活性化協議会予算の変更について、事務局の提案通り承認することとしてよろしいでしょうか。

委員	異議なし
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、令和4年度船橋市地域公共交通活性化協議会予算の変更について、承認することとします。</p> <p>3つ目の議題について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<事務局より説明>【議題3】
議長	<p>では今の説明について、まず会場にいる方から、ご意見ご質問等よろしく願います。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございます。</p> <p>4月、5月あたりではコロナが大分落ち着いていたこともあり、人数が戻ってきていることが伺え、喜ばしいことかと思えます。</p> <p>17ページの乗り残しについては、毎回質問させて頂いておりますが、これについて課題が見えているなかで改善策が示されていないというのが、PDCAサイクルを回す観点から違和感を感じます。何等かの改善策を講じる必要があるかと思えます。道路や運行の状況の改善であったり、利用者に対する混雑時間を変更して下さいと周知するなどのなげかけでしたり、何か行わないと評判も悪くなってしまうと考えられます。このあたりの事務局の考えについてお聞かせください。</p>
議長	事務局お願いします。
事務局	<p>ご説明いたします。</p> <p>PDCAサイクルを回していくという観点において、委員の仰せられたような改善策を検討している段階でございます。特に田喜野井線の乗り残しの課題に対しては、ポンチョ型の小型バスの導入の検討を進めており、昨年試走も実施いたしました。しかしながら、道路状況もあり対向車とすれ違えないなどと課題が多くあり、拡幅などの対策も依然必要であると認識しております。</p> <p>また、バスに多く乗ってもらえること自体は公共交通として喜ばしいことではありますが、乗れない時間帯が発生してそれが利用者にとっても乗りづらくなることに繋がっていくとも考えられます。地元の皆さんとの話し合いの機会を今後多く持ち、利用者の分散を促すなど、利用の仕方や提案など意見交換しあっていきたいと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>状況については理解しておりますが、この状況がずっと続くというのは、解決しなければならないものと考えられます。今のような分散を呼びかけるなり、ポンチョの運行についても前回も聞いた気がしますが、場合によっては、私が高知県</p>

	<p>で実施し解決した経験のあるような、狭い道を ICT によって制御する運用によるコントロールなどもあります。交通量も多く中々すぐにできるかどうかはわかりませんが、工夫を重ねて頂きたいと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>他にご意見等ありますでしょうか。 お願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>私からは、公共交通不便地域解消事業の内容について補足説明をお願いします。 まず、14～16ページにてそれぞれの地区の利用状況がグラフで出ております。ご説明の中で、令和2、3年度はコロナの影響によって利用状況が低減しているとありましたが、コロナが複数年に渡る中で、低減している理由がコロナの影響だけを見ればよいのか、運行回数やルートの変更によるものであるのか、何等かの取り組みがあった上での数字なのか、ご説明いただきたいと思います。 2点目には、17ページに一日平均の乗り残し人数について、令和2、3年度には減っているが令和4年度現在は増加しています。乗り残した方が次のバスに乗ったのか、別の交通手段を行ったのか、そのあたりのフォローについて追っていただければご説明願います。 3点目に18ページに収支率、19ページには収支率50%を超えるための乗車人数が記載されております。この公共交通不便地域解消事業の目標として、50%以上を維持していくのか、もっと利用促進に関する施策を実施していき収支率を向上させていくのか、事務局のお考えをご説明願います。 最後に、バス利用の状況について長い期間細かく集計しグラフ化しておりますが、これはバス事業者の方からデータを頂き市の方で作成しているのか、ご説明願います。</p>
<p>議 長</p>	<p>では4点について、説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご説明いたします。 まず1点目についてですが、運行本数や運行形態については変更していないので、コロナの影響が起因した結果であると認識しています。 2点目についてですが、対象地区は交通不便地域であるため、代替手段としては自分の足で歩くかタクシーを利用するかに絞られていきます。市として把握しているのは、次のバスご利用いただいていることを把握しております。 3点目についてですが、運行継続のためには50%を上回っていることが重要ですが、市の支援無しに運行継続できることが持続可能な交通であると認識しておりますので、運行経費で100%を目指すことを目標としております。また丸山地区に関しては過去に100%を超えていましたが、同時期にコロナ禍に突入しており、利用客を戻す施策も求められています。現在一般的な意見として公共交通はコロナ禍以前には戻らないと言われておりますが、交通不便地域のみ課題ではなく、公共交通事業者全体と話し合いながら利用者回帰策等を実施していきたいと考えております。そのためのワーキング会議などであり、解決策を創出</p>

	<p>していきたいと思います。</p> <p>4点目についてですが、バス事業者から利用状況の報告がありますので、職員にて作成しております。</p>
委員	<p>わかりました、詳細な説明ありがとうございます。</p> <p>乗り残し人数の把握の中で、交通不便地域には代替手段となる交通がないとのことでしたが、あきらめた人や別に行った人がいると思われそうですが、同じ考えでしょうか。</p>
事務局	<p>仰せられるように、次のバスに乗った人数は把握しておりますので、別の手段を用いた方がいることも考えられます。</p>
委員	<p>わかりました、ありがとうございます。</p>
議長	<p>立場を超えた発言にはなりますが、話にあったとおりに乗れなかった人の動向などは把握する必要があるかと考えます。そうした対応策なども検討していく必要があるかと考えますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>他にご意見等ある方はお願いいたします。</p> <p>続いて、Webでご参加の委員の方、ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。</p> <p>意見も出尽くしたようですので、この議題についてはここで終わりとさせていただきます。</p> <p>4つ目の議題について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局より説明>【議題4】</p>
議長	<p>では今の説明について、まず会場にいる方から、ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>約180万円程の予算額であるという説明ですが、有効に活用すべきという観点からご質問いたします。</p> <p>まず、船橋市公共交通マップについて、予算を投じて更新するということですが、更新に対して約180万円程の予算をすべて投じるのでしょうか。公共交通はその状況によって路線が変更したりするものであり、令和4年度以降も毎年この予算すべてを投じていくのでしょうか。毎年約180万円程の予算があるとは想定しづらいですが、このマップ自体が令和4年度だけだと変更に対応しなくなるとも言えます。参考として、千葉県バス協会では毎年交通マップを作成し無料で配布しております。バス路線は毎年変わるので、ご要望がある限り毎年発行します。当予算規模が毎年用意できるのであれば良いのですが、ある程度Web等を活用し、端末上で見られるだとか、公共交通の変化に対応した利用の仕方があると思いますので、ご検討ください。</p>

事務局	<p>ご説明いたします。</p> <p>参考までに、1万部作成したときの費用が約130万円程かかっております。</p> <p>今回の更新は、既存のマップに対する変更が入りますので、全く同額ということにはなりません。今回の協議会予算で70万円、(公財)日本デザインナンバー財団からの助成金を60万円充当することで130万円になりますので、このような形で更新できると考えております。</p> <p>加えてWebの活用についてですが、すでに市ホームページ上には掲示されておりますので、スマートフォンからでもみて活用することはできます。</p>
委員	<p>わかりました、ありがとうございます。</p>
議長	<p>この助成予算額の約180万円という数字は、来年度の見込みとして大体同額であると考えられますか。</p>
事務局	<p>年間約60万円程度ではないかと考えられます。今までの繰越額で約180万円という数字になっております。急激に図柄入りナンバープレートの寄付金があれば増額すると思いますが、昨年時と収入見込み額は変わっていないというのが現状です。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見等ある方はお願いいたします。</p> <p>続いて、Webでご参加の委員の方、ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。意見も出尽くしたようですので、お諮りいたします。</p> <p>公共交通マップの作成および地方版図柄入りナンバープレートの寄付金の活用について、事務局の提案とおり承認することで異議はないでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>4つ目の議題について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局より説明>【議題4】</p>
議長	<p>では今の説明について、まず会場にいる方から、ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>資料中にはパブリックコメントを行う予定であるとの説明でありましたが、公表予定の時期と今後のスケジュールについて教えてください。</p>

事務局	<p>パブリックコメントについては9月以降に行う予定です。そちらで意見等があり修正が求められるようでありましたら対応していき、速やかに計画の公表が行えるように作業を進めていきます。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございます。 当協議会の委員に対する説明についてもパブリックコメントの前に行うとの説明でしたが、会議にて対面で説明頂けるのか、書面にて郵送等対応して頂けるのかご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>書類をご郵送にて差し上げる予定です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。 他にご意見等ある方はお願いいたします。 続いて、Webでご参加の委員の方、ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。内容ですので、この議題については終了いたします。 最後に事務局より今後のスケジュールについてご説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局より説明>【その他】</p>
議長	<p>では今の説明について、まず会場にいる方から、ご意見ご質問等よろしく願います。 はい、お願いします。</p>
委員	<p>先ほど船橋市地域公共交通計画のパブリックコメントが9月以降にあるとご説明がありました。公表が行われたことに対する報告と、実施事業の変更等については次回の協議会の中に議題として入ってくるという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>もし実施事業の変更があればもちろん議題に入れていきます。また本協議会では船橋市地域公共交通計画の進捗管理を行っていきと位置づけており、協議会にて報告等を行っていく予定です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。 他にご意見等ある方はお願いいたします。 続いて、Webでご参加の委員の方、ご意見ご質問等よろしく願います。 はい、お願いします。</p>

<p>委員</p>	<p>先ほど、新型コロナウイルス感染症対策支援金についてご説明があり、大変ありがたいと感じております。本会の中で交通不便地域解消事業の報告がありましたので、私からは交通不便地域以外の報告をさせていただきます。</p> <p>あくまで当社の事例ではありますが、利用者数は交通不便地域解消事業と同様持ち直してきてはいますが、当社の場合、令和4年度における5月および6月はコロナ禍前と比べて約12%ほど減少状態にあります。以前までの30～40%減の状態と比べるとマシな状態となっておりますが、ご承知の通り、現在行動制限がない中での実態であるため、コロナ禍が収束した後も元に戻るのかが心配なところでございます。</p> <p>また、当社は近隣他市にも路線を有しておりますが、エリアによって回復傾向にもばらつきがあり、都市部より郊外地のほうが回復が遅いと捉えております。</p> <p>もともとバス事業者では様々な路線を有しておりますが、日本全国のバス事業者で共通していえることは、有する路線にも黒字路線と赤字路線があり、全体を通してわずかな黒字を維持してきたという現状です。これまでは黒字路線によって赤字路線に対する内部保留を行うことで公共交通ネットワークを維持してきたということですが、コロナ禍においてこの構造が機能不全に陥っている状況であると認識しております。このことについては公共交通に対する大きな転換点を迎えているのではないかと考えております。</p> <p>この地域公共交通活性化協議会は、すべての公共交通の活性化のために議論しあう場であると認識しておりますので、公共交通の維持のため、行政には引き続き継続的な支援をお願いします。</p>
<p>議長</p>	<p>貴重な意見、ありがとうございます。</p> <p>仰せられたように、コロナ前に戻っていく中で一つの大きな議題になるかと思えます。今後、全体的な人口の偏在や課題が起きてくる中で、まさに市民の足を維持して下さっている交通事業者のみなさまにも、どういう事をすれば安定的な公共交通を維持できるのかを議論する場がまさに本協議会でありますので、引き続き色々なご意見を頂ければと思います。</p> <p>他にご意見等ある方はお願いいたします。</p> <p>はい、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>今の話の補足として、説明させていただきます。</p> <p>まず、曜日ごとの利用の差に大きな違いが出てきております。当社の一般的な路線バスの事例で申し上げますと、平日だと3年前のコロナ前と比べて15～20%のマイナス状態です。これでもかなり回復している方であると言えますが、土休日については深刻な状態であり約30%のマイナスから戻ってこない状態です。</p> <p>一方で、空港や商業施設、テーマパークなどの大規模集約施設から話を聞くと、来場者数の状況を比べると一般車の利用がかなり増えてきているとのこと。アフターコロナという話が良く出てきておりますが、第7派を迎えても政府から行動制限が出されない状況を見ると、既にアフターコロナに入ってきているの</p>

	<p>ではないかといえます。従って、我々としては今の利用状況を踏まえて輸送力を想定していかないといけない状況であります。</p> <p>船橋市様からも、多大な支援金など頂いており、そのご配慮に大変感謝しております。しかしながら、これをもって経営状況が黒字化できるかといえば、なかなか難しい状況です。報道にもありますとおり東京メトロ銀座線では約33%もの減便を行うとありましたが、申し上げたように曜日の格差、路線状況によっては我々もこのような判断は避けて通れないものではないかと危惧しております。</p> <p>当然、公共交通でありますので、何とかしてでも維持すべきものであり、我々の命題であると認識しておりますが、一方で民間事業でもあるため健全な経営状況の上で足を確保するという、いわば二律背反であると言えます。</p> <p>この突き付けられた課題に対して、引き続きご理解あるいはご支援を頂きたいことに加え、場合によっては、路線や便を調整に踏み切らなければならない可能性もありますので、ご理解を賜りたいと思います。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご説明の話だと、大規模集約施設で利用者数は戻っているけれど、一般自家用車に利用に傾いてきているということでしょうか。</p>
委 員	<p>利用者数、集客数も変化していますが、数に占める一般自家用車の利用率が増えているとのことですか。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>仰せられたとおり、様々な課題が出てきている中で、コロナ前に戻らないということも考えられます。そうした事も含めて、本協議会にて議論していきたいと思っておりますので引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>他にご意見等ある方はお願いいたします。</p> <p>無いようですので、これにて第57回船橋市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。</p> <p>最後に私事ではありますが、ご挨拶申し上げます。</p> <p>7月18日付で、船橋市副市長を退任する運びとなりましたので、同時に本協議会の会長職も外れることとなります。委員の皆さまにはお世話になりました。</p> <p>コロナ禍で実会議が開催できないといった非常に難しい時期もありましたが、こうして集まって色々な意見が頂ける機会が戻ってきて大変うれしく思います。</p> <p>船橋市の交通を安定的にかつ快適に供給するという共通の課題に対して、様々な立場から意見を頂く貴重な場であると思っています。今後も高齢化であったり、コロナ前に戻らない状況であったり、人口の偏在化などといった課題があるときに、市民の足を確保していかねばならない中で、皆様の活発なご意見を頂きたいと思っております。</p> <p>3年間お世話になりました。本当にありがとうございました。</p>